

ことば



令和7年5月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室 75-0379

通級指導教室の理解指導をしました

今年の4月で余内小学校の通級指導教室が開設されて1年が経ちました。入学式には、保護者へ向けて通級指導教室についての説明をしました。始業式には、全校児童に通級指導教室の担当者の紹介や活動内容について話しました。

その後、4月中旬頃から朝学習の時間に各学級の教室で、大型テレビでスライドを見せながら、活動内容を詳しく話したり実際に学習していることを体験させたりしました。体験では、正しく発音するための口や舌の体操、聞いた文字を並べ替えて言葉を作るよく聞く活動、イラストから言われた動物を見つけ出すといったよく見る活動等を行いました。その中で、通級指導教室に通う児童がそれぞれ決めた目当てに向かって一生懸命に取り組んでいることが分かりました。そこで通級指導教室に通っている友達が気持ちよく通うことができるように「いってらっしゃい！」や「がんばってね！」「おかえり！」等の言葉をかけてほしいと担当者から伝えました。どの児童も興味を持って聞いたり意欲的に体験したりすることができ、通級指導教室について詳しく知ることができました。今後も余内小学校・中舞鶴小学校の保護者や担任ともその都度連携を図りながら、取り組んでいきたいと思います。

最初の指導では、担当者と友達が自己紹介をし、児童と担当者でどういった目当てで力を付けていくかを確認しています。「伝えたいことがあるときは言葉で伝えて、苦手なことも友達や先生と協力して最後まで頑張ろう！」という通級指導教室での目標のもと、一人一人に寄り添いながら力を付けていくことができるよう支援していきます。



5月の予定

8日(木) 研究会出席のため指導はありません。

12日(月) 初回相談

少しずつ暑い日が多くなってきましたので、水筒と汗が拭けるタオルかハンカチを持たせてください。

よろしくお願いします。



～大雨や台風のため

警報が出ている場合～

「大雨警報」「暴風警報」「大雪警報」

「暴風雪警報」が1つでも発表されて学校が臨時休校になった場合、通級指導教室もお休みになります。

午前11時までに警報が解除された時には、午後の指導を行います。



乗り越えていく力となるサポートを



子どもたちは、新しい学年に進級し1ヶ月が経ちました。通級指導教室では、学校での様子や勉強のこと、友達のこと等様々な話をしてくれます。「体育が好き。」「初めて始まった理科が楽しい!」「外国語の授業で英語を話した。」「算数が難しくなった。」「先生がおもしろい!」等…。少しずつ慣れてきた子もいれば、環境の変化にまだ慣れない子、疲れが出てきた子もいると思います。今月は、環境の変化と向き合っている子どもたちへ学校や家庭でできるサポートを紹介します。

① 相談しやすい時間をつくる



入浴中や寝る前の時間、習い事への送迎の時など短時間、定期的に子どもと2人きりの時間を作りましょう。「この時ならゆっくり話を聞いてもらえる。」と分かったら、困った時も相談しやすくなります。

② 悩みの元からいったん遠ざかる



友達関係で悩んでいるときは、自然の中で過ごしてみる。勉強で行き詰まったら、体を動かして家族で遊ぶ。このようにストレスの原因と反対のことをするのは、年齢を問わずストレス解消になります。

③ 小さな目標を示して自信をもたせる

忘れ物が多く落ち込んでいたら、「一緒に準備をしよう。教科書をそろえるのは任せたよ。」と伝えたり、漢字の練習では「2行は丁寧にゆっくり書こう。」と話したりして現時点での子どもがクリアできる目標を示すと、自信になります。



参考文献:「保護者通信」ベネッセコーポレーション

○ 転任のご挨拶

余内小学校では、2年間お世話になりました。通級指導教室開設にあたり、初めは何もないところからのスタートでしたが、笑顔で通級してくる子どもたちを見て、たくさん元気をもらいました。いろいろな物が気になり、すぐに体が動いてしまっていた子も少しずつ担当者の話を聞けるようになってきました。小さい「っ」が抜けてしまっていた子も、自分で声に出して確認しながら正しく書けるようになってきました。また、自分に自信がなかった子も、自分の言葉でたくさん話ができるようになってきました。そんな子どもたちの頑張りや成長は本当に素晴らしいと感じています。

短い間でしたが、保護者の皆様にはたくさん励ましていただき、本当に感謝しかありません。本当にありがとうございました。またどこかでお会いできることを楽しみにしております。

後野 香織

